



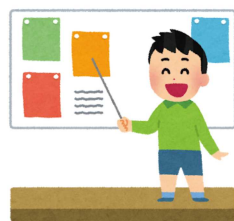
小規模校の強み

「学校教育法施行規則」第41条では、「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。」としています。それ以下の場合（11学級以下）はいわゆる「小規模校」と呼ばれ、本校はまさに「小規模校」となります。

さて「小規模校」には児童数が少ないが故の課題や悩みがありますが、しかし「ないものねだり」をしては何も始まりません。私は「小規模校」の「課題」ではなく「強み」や「メリット」に目を向け「**“強み”を生かした学校づくり**」をしていきたいと考えています。

一般的に「小規模校」には以下のメリットが存在すると言われています。

- ① 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、**補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導**が行いやすい。
- ② **意見や感想を発表できる機会**が多くなる。
- ③ 様々な活動において、**一人一人がリーダー**を務める機会が多くなる。
- ④ **異年齢の学習活動**を組みやすい、**体験的な学習や校外学習**を機動的に行うことができる。
- ⑤ **地域の協力**が得られやすいため、**郷土の教育資源**を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ⑥ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、**保護者や地域と連携した効果的な生徒指導**ができる。



（文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」より抜粋）

本校ではこれまでも、これらのメリットを十分に生かした教育活動を展開してきましたが、今年度も「**小規模校ならではの**」の取組を模索して、実践していきたいと思えます。そして福田小学校の子どもたち、そして保護者の皆さん全員が「**福田小学校でよかった!**」と言っていただけるような学校にしていきたいと思っています。具体的な取組については今後の学校だよりやホームページで紹介していきます。

もうすぐ大型連休 感染症対策を十分にして お過ごしください

せつかくの連休ですが、今年も心が休まらない状況です。連休中も、「マスクの着用」「手指消毒」「三密回避」を心がけて過ごしてほしいと思えます。

万が一、お子さんやご家族の方が感染者または濃厚接触者となった場合には、学校か校長まですぐにご連絡ください。（電話番号は「生徒指導だより」でご確認ください。）

花壇づくり

我が家の庭先に小さな花壇がある。花壇づくりは私の仕事で、何の花を植えようか、レイアウトはどうしようかと、花壇作業の時期が来るといつも頭を悩ませる。ネットで調べてみたりするが、出来栄はいつも満足のいくものには程遠い。

ある日のこと、家の前を散歩コースにしているらしい年配の男性から「お宅の花壇にいつも楽しませてもらっています。」の言葉をいただいた。人の目など全く気にしていなかったため、恥ずかしいやらうれしいやらで照れくさかった。

見ず知らずの方からの一言。心の中で「いいな。」と思ったことを、そんな風に気軽に「いいですね。」と表現できるようになれたらいいなと思った。心で思うだけでは何も伝わらない。子どもたちにも先生方にも「いいね。」「すばらしいね。」をたくさん伝えていこうと思う。

